# 広報 なかつえ

46年11月号
【第105号】
発行所
編集発行人
大分県・日田・中津江村
斉藤隆一


# 第十一回鯛生剣道大会
## 日田市Aと山国中が優勝

第十一回鯛生剣道大会（主催、中津江村体育協会、中津江剣友会、後援、中津江村教育委員会、西日本新聞社、鯛生鉱業所）は十月二十四日、中津江中学校体育館で大分、福岡、熊本の三県から一般団体十五チーム、中学団体二七チーム、二五二名の選手が参加して開かれ、一般は日田市Aが、中学は初参加の下毛郡山国中が優勝しました。

勢ぞろいの剣士たち

来年の県体剣道大会場にきまった中津江中体育館は九時三〇分の開会を前に福岡の八女、黒木、矢部、熊本の菊池、小国、大分の玖珠、下毛、日田の各地から集まった選手が早くも練習をはじめ、場内は次第に熱気がはらんで「メン」「ドー」の気合もいさましい。

鯛生剣道大会は毎年参加チームもふえ、県下でも大きな大会の一つとなっています。今年は大分県剣道連盟からも糸永理事（七段）が来て大会助成費として一万円を出すなど、県剣道連盟もこの大会の発展に非常に力を入れています。

開会式のあと宮本武蔵二天一流剣道形と無想神伝流居合の形がおこなわれて、試合はAパート、Bパートにわかれ、中学団体戦からはじめられました。中津江からはAパートに中津江中のA、B、鯛生中、Bパートに中津江中Cの四チームが出場しました。中津江中Aは三回戦（準々決勝）まで進みましたが、惜しくも菊池市南中Aに一対三で敗れ、中津江チームの決勝進出はなりませんでした。

決勝戦には菊池市南中Aと山国中が進出、どちらも中学生とは思われぬ気迫で戦いました。山国中は菊池市南中にくらべわずかに上背でおとっていましたが早いうごきで攻め先鋒が二ー一でまず一勝、つづいて次鋒が二ー〇、中堅が二ー一で勝ち早くも優勝をきめました。菊池市南中も副将が二ー〇で勝ち大将は一ー一の引きわけに持込んで力のあるところをみせました。

一般団体は中学の試合に引きつづいてはじめられ、三、四段の元気一杯の青年から、五、六段の達人まで二刀流や上段同士のたたかいなど多彩な試合がくりひろげられました。準決勝にはAパートで日田市Aと菊池市Bが進み日田市Aが五ー〇で菊池市Bをくだして決勝へ、Bパートでは菊池市Aと日田警察署が進み、菊池市Aが三ー二で日田警察署をくだして決勝へ進みました。

決勝戦は日田市の先鋒本川二段と次鋒小山三段がともに一本を先取されながらも挽回して二勝をあげると菊池市も中堅岩本三段が「メン」「コテ」をきめ二ー〇で一勝をかえし以後の戦いを面白くしましたが、日田市の副将桜木四段は上段にかまえる菊池の甲斐五段を二ー一でやぶり優勝をきめました。大将同士の戦いは菊池の森田五段が後藤四段から「コテ」「メン」をつづけてとり、試合を三対二に持込んで菊池市の面目をみせました。

日田郡からA、B、C、Dの四チームが出場したがAが二回戦に進んだほかわ一回戦でやぶれました。

試合後、中津江村体協と西日本新聞社から三位までのチームに賞状、賞品、優勝旗がおくられ、四時三〇分大会の幕をとじました。

一般優勝戦

### 村の動態
46年11月1日現在

| | |
|---|---|
| 人口 | 2,968人 |
| 男 | 1,436人 |
| 女 | 1,532人 |
| 世帯 | 688戸 |

（住民基本台帳から）

# 茶業先進地 視察記

普及員　赤　野　拡

中津江村では特産物の振興を図るため、従来より上級せん茶として知られている津江茶の再興を目指していますが、先の役場執行部の視察につづき、農業委員を中心とするメンバーで去る九月二十九日、三十日の両日、茶の先進地である福岡県八女郡上陽町、佐賀県嬉野町及び長崎県松浦郡世知原町を視察をしました。

## 玉露茶が主体の上陽町

この地域は品質の良い茶で有名な八女茶の産地で、標高は三百米位いに位置し農産物としては茶のほか椎茸、ミカン、肥育牛等があり、これを複合的に組み合せた経営の農家が多い。

茶園は全体で百三十ヘクタール、新植園はヤブキタ、サヤマミドリの品種が見られ玉露茶が主である。

生葉売り農家も多く、キロ当り一五〇円、製茶で四千円から四千五百円で十アール当り粗収入四十万円あげる農家も多い。共販率は八十%とかなり高く、農協で冷蔵貯蔵庫を設置し、保管中の品質の劣化を防いでいる。

当町で木下伊平氏の二戸共有の茶工場と、個人の新茶園を見たが、茶工場には八木式全自動製茶機二基並列に設置し、一日四千キロの処理能力で自家園の茶はもとより、町内の生茶の購入加工を行なっている。

茶園は三年前に植えた一ヘクタール余り（写真1）のもので品種はヤブキタであり、動力摘採機で収穫し当町では年年茶園の面積を拡大している。

農協に専門の指導員がおり、町と協力して開園から製茶仕上まで指導をしている。

## 歴史に輝く嬉野茶

嬉野は茶と温泉で有名な地で、嬉野茶の歴史は古く三百年前にもさかのぼる。

茶園は百五十ヘクタールにおよび、年間生葉生産量は一万四千トンで町内には四百の小規模製茶工場があり、動力摘採機は六百台にのぼっている。

本年の茶況は一番茶六百円から七百円、二番茶四百五十円、三番茶三百五十円程度である。

ここは元来カマいり茶の元祖として知られ、生産の多くは「玉緑茶」「ノビ茶」であるが陶工紅令氏に伝えられた「釜いり茶」は嬉野氏製法として今日に至っている。現在パイロット事業で百ヘクタールを開こん茶の作付をなし三年後には二百ヘクタールを目標にしている。

上陽町の玉露茶育成園

尚当町では茶業振興の一端として育苗費の補助制度をとっているが、これは農家一本当り一、五円の育苗費を補助し、その苗の六割を町に供給することを義務づけ、再に一、五円の値引をして栽培農家に売渡しているものです。

## 機械化をモットの世知原茶業

この町は町営の茶工場を有し、今年のあつかい高は約二百トン、現在の茶園は百十ヘクタール、約五十%が幼令園である。

当町での視察は、生産協業体の経営する茶園で、標高四百メートルから五百メートルに位置する国有林の払下げを受け、農業構造改善事業で約二十六ヘクタールの開園をしたところで、将来自走式動力摘採機を導入する計画で五度以上の傾斜をなくし段々畑になっている。

協業体の構成農家は三十戸で経営主の平均年令は三十五才と若く、労働力も安定しています。

## 視察の反省と今後の方向

農業委員会では、十月十一日に視察に関する反省会をもち、討議を重ねて、次の点を全員の意見として確認しました。

一、中津江村では自然立地条件及び将来性の点から、八女郡上陽町に見られるような上級玉露茶の生産を目標とし、土地生産性をあげられるような集約栽培を目指していく必要がある。

二、村内に五十アールの協業による茶園団地を二ケ所以上設け、パイロット的園地造成をするとともに、農家は畦畔茶を三年以内に二倍の面積に拡大し、村内茶生産量の増加を図る。

三、村の施策として、茶業振興のため、専門の指導員をおき、栽培技術指導の徹底を図る、開園の際の土地基盤整備費の補助、苗代の助成など強力な行政援助をとること。

四、機会あるごとに津江茶の宣伝を行ない上級茶産地としての名柄を確立する。

## 十一月の農作業

水稲……収穫後の水田は裏作に利用しない場合は、秋耕しておきましょう。特に湿田は耕起により土壌構造の改善、土壌微生物の活発化に役立ちます。

果樹……栗は植栽時期です。筑波、銀寄、円沢、伊吹等の品種を選び、植穴は深めに堀り、粗大有機物、堆肥などを多用し、熔りんや化成肥料を植付け肥として使用する。成木の場合、落葉前に密植園の間伐、縮伐を行なって下さい。

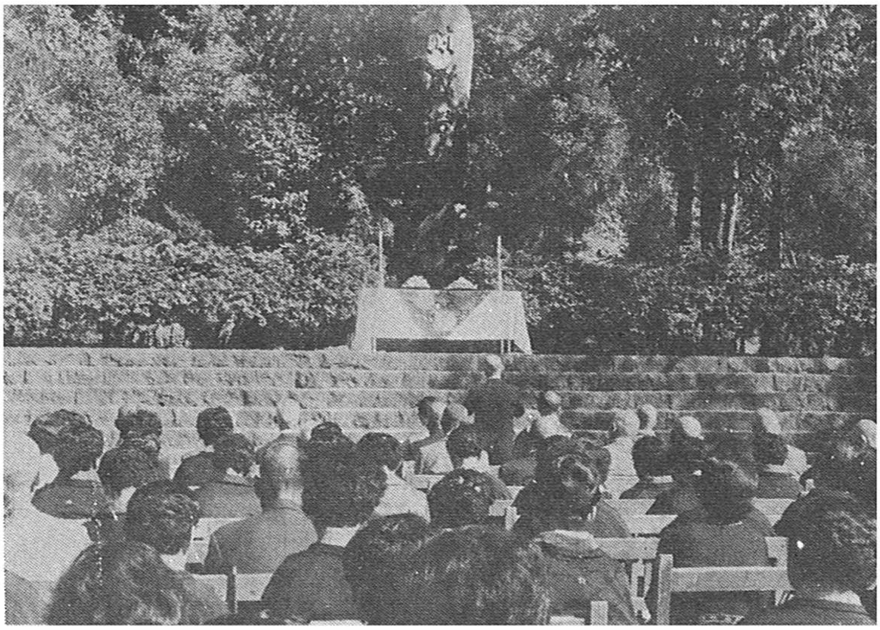
ユズは下旬以降にてシン油乳剤（五十倍液）の散布をして後、防寒対策をしましょう。

幼令樹には支柱をし、枝をまとめてワラでかるくしばり、その上から全体にワラでおおいをして下さい。

野菜……玉ネギ、ネギ等の植付けを行ない、キャベツ、ハクサイ等の青虫にはDDVPかデープテレックス剤の散布をして下さい。

# しめやかに慰霊祭

## 二百十二柱のみたま安かれと——



中津江村の慰霊祭は十月二十五日午前十時から中学校横の慰霊塔前で、しめやかにおこなわれました。

戦争で祖国のために尊い命を捧げられた慰霊二百十二柱に対して、参列された来賓四十名をはじめ遺族一四〇名が心からみ霊のめい福を祈りました。

今年の慰霊祭は、遺族会の主催で行なわれ、式は遺族会長の式辞ではじまり、大分県知事弔辞、村長弔辞、村会議長弔辞があり、お坊さんの読経と参列者全員の焼香でおわりました。

# 明年一月から発足

## 児童手当が支給されます

児童手当制度は、わが国で初めての制度で、児童福祉の増進をはかるうえで重要なもので、早期実現を待っておったものがさきの国会で「児童手当法が成立し、いよいよ明年一月から実施されることになりました。

この制度のおもな点について紹介しましょう。

**一、制度の目的**

児童を養育している人に児童手当を支給することによって、児童の育成の場である家庭における生活の安定をはかるとともに、次代の社会をになう児童の健全な育成と資質の向上をはかることを目的としています。

**二、受給者と手当の額**

十八歳未満の児童を三人以上養育している者に対して、三人目以降の児童で義務教育終了前のものにつき月額三千円の児童手当が支給されます。

ただし、その人が高額の所得がある場合には、支給されないことになっています。昭和四十六年度では扶養親族等五人の場合で前年の収入が二百万円以上あるときは支給されません。

なお、支給の対象となる三人目以降の児童は段階的に拡大されることになっており、最初の年（昭和四十八年三月まで）はこれを五歳未満の児童とし、昭和四十八年四月から昭和四十九年三月までは十歳未満の児童に拡げ、昭和四十九年四月から義務教育終了前の児童となります。

**三、支給を受ける方法**

児童手当の支給を受けようとする人は場場に申し出て村長の認定を受けていただきます。

認定されれば、毎年二月六月、十月の三回に分けて、それぞれ前月までの手当がまとめて支払われますが、昭和四十七年一月分と二月分の児童手当は三月に支払われます。

なお、公務員については、それぞれの職場で直接認定および支給が行なわれることになっています。

# 高山植物 山火事 の未然防止に ご協力ください

秋の行楽シーズンを迎え自然の山野に余暇を楽しむ人が多くなっています。

これに併行して国有林内の高山植物が、観光客や悪質な植木業者により盗採の多発期に入りました。また盗採が年ごとに悪質、知能的になって、最近は昼間に目ぼしをつけ夜間ヘッドライトで照し掘り取ったり、昼間に掘り取り道路そばまで運び車で持ち去るなどの実に悪質、巧妙化しています。

そこで営林署としては警戒体勢を強化し、森林司法警察職員である担当区主任及署員を動員して常時盗採の未然防止のため厳重な警戒巡視に当ることにしていますので、国有林が所在する市町村及び住民の方々のご協力を得て盗採の防止につとめることにしています。もし盗採らしき者を見つけましたら、自然を守るため通報、連絡をよろしくお願いいたします。

また空気が乾燥し、山火事の多発期でもありますので、国有林、公私有林を問わず、入林される方は林内でのタバコのすいがら、火気の取扱について十分注意し、山火事の未然防止にもよろしくご協力をお願いします。

菊池営林署

# 体育の日

## 全村にスポーツの熱気わく

十月十日体育の日、晴れきった秋空の下では、全国各地でスポーツ行事が催されたようですが、本村では村民の皆体育と体力増進を促す意味から、だれにでもでき、親しまれているソフトボールや、婦人会、女子青年にはバレボールの地域対抗的な大会を催しました。特に今年の見ものは地区中心のチームが多かったこと、少年ソフトボールをとり入れたことでした。

昨年の体育館の完成につぎ、元栃原の中心地に大グラウンドができたので大会はこれまでになかった盛会で、選手ものびのびとプレーがされ、応援者を含めて楽しい一日を過されました。

## スポーツ人口が増加

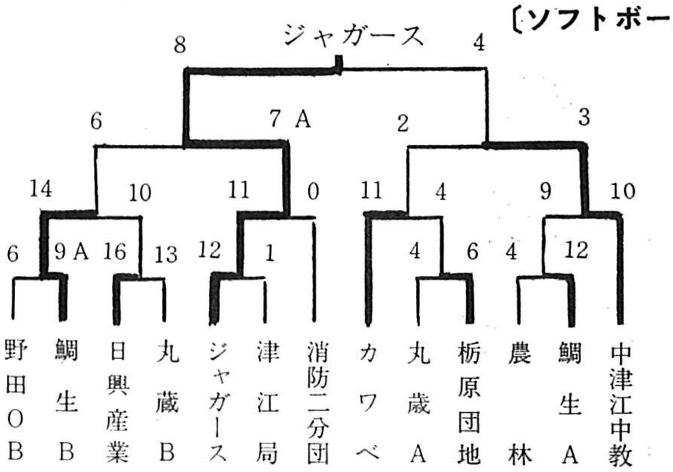
### ソフトボールは十三チーム

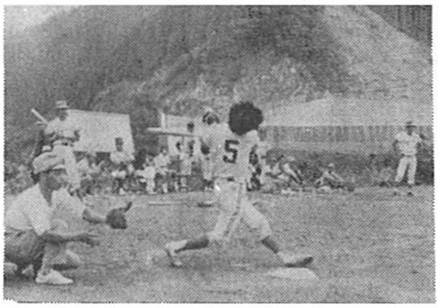
昨年まで小、中学校のグラウンドにて分散して試合をしていましたが、栃原の大グラウンドが整備されたことによって、ソフトボール大会は、はなばなしく盛大に開かれました。

第四回目であったソフトボール大会は、チームの編成も、全体的に職場的なチームから地域中心のチームへと変ってきて、十三チームが勢ぞろいし、スポーツ人口が増えたことを物語っています。

終日熱戦が展開され、みなさんの予想通りジャガースが優勝し、それぞれの成績は次のようでした。さて来年はいづこに栄冠が？

〔ソフトボール〕



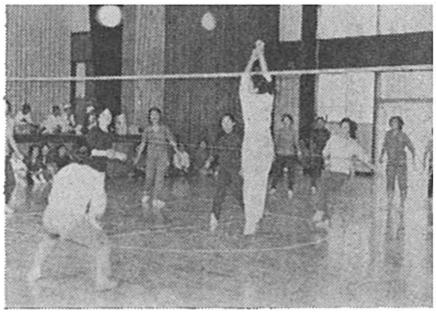
ジャガース対消防二

## 体位は満々

### かあさんのバレーボール

体育の日の行事に参加があやぶまれた婦人会のバレーボール大会でしたが、ことしからチームの編成に青年女子を二名加わってもらったせいか、参加チームも多く、熱気のあふれたおかあさん方のチームとなり「体育の日」にふさわしい大会となり、大きな体育館も割れんばかりのファイトで一杯、これがお母さんたちのスポーツかと、改めて認識しました。

熱戦の末、ABグループともに鯛生チームが優勝しました。



バレーボールの熱戦

**成績表**

| | | |
|---|---|---|
| **Aグループ** | | |
| 2位 | 丸 | 蔵 |
| 3位 | 野 | 田 |
| 4位 | 川 | 辺 |
| **Bグループ** | | |
| 2位 | 川 | 辺 |
| 3位 | 野 | 田 |
| 4位 | 丸 | 蔵 |

## 大人に勝る技

### 少年ソフトボール

この日九時から少年ソフトボールは中津江中学校グラウンドにて小学校区の対抗となり、きびきびした行動と日頃蓄積した技を思い切り発揮し、少年スポーツらしいプレーは立派なものでした。熱戦の末チームが初優勝でした。

## 中体連駅伝競争

### 中津江連勝ならず

第五回中体連日田郡駅伝競走は十月二十日、絶好の天候に恵まれ、郡内中学七十名の選手が参加して、栃原〜勝坂〜吉原折返しの二九・五キロメートルで行なわれました。

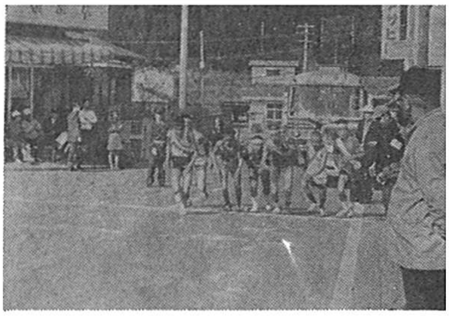
午前十時スタート、本部車、計時車、監察車（四台）、救護車を連ね交通指導員の方々の万全の対策のもとで無事終了しました。

本年は各校の実力が伯仲しており、中津江中は二年主体のチーム編成であったため二連覇は無理と予測していました。

然し他校の力は予想以上のものがあり、中でも上津江中学の力は抜群でした。

一区は大山中が首位でたすきをわたしましたが、二区で四位から一位に躍りでた上津江中がそのまま、後の区間を独走し二位を三十一秒差をつけゴール、初優勝を飾りました。区間新記録も続出し、各校の日頃の努力がはっきり目立った有意義な駅伝大会でした。

一位　上津江中　一時間四四分二六秒
二位　大山中
三位　東渓中



中学駅伝
栃原スタート一瞬

# 歩こう会

## 親ぼくと保健体力の向上

中津江村と村体育協会は十月三十一日、絶好の登山びよりに恵まれた日曜日、昨年の渡神岳につづき、二回目の「歩こう会」を酒呑童子山にて行ないました。

丁度農作物の取り上げの時期のためか中年壮の参加が割に少なかったがそれでも老若男女を交え百三十名が下切橋に集まり、八時二十五分、体協支部長の指示で、片道七、四キロメートルの酒呑童子山頂めざしスタート、イノシシも顔敗けの早登り、一番のりの鯛生中学桑野時守君はなんと一時間十分で到着しました。

普通山道になれた人で二時間はたっぷりかかるコースです。

当日の歩こう会では、一般男子、一般女子、中学生小学生の四部に区別先着十名の方に記念品を用意してあったのですが、女子の部でも、川辺の麻生イサエさん（四九才）は一時間三十分これも健脚おとろえずというところです。

七十才で征服された清水さんの到着

山頂でのおにぎりおいしいですね

特に山頂で人目をひいたのは、八十三才になられた原部の清水留次さんで「来年も又」とファイトを燃していました。

宝さがし風景

山頂附近の尾根は長く、ブナやケヤキなど大木の自然林の中、落葉深くふみしめて登る足並みはいとも軽く感じられました。

山頂で全員中食をとって下山、酒呑童子キャンプ場にて宝さがしや、いろいろのレクリエーションも大にぎわい、まさにスポーツの秋を思わせ、午後三時散会しました。

この歩こう会をもって四十六年度の体育行事の幕をとじたものです。

# 職員採用試験は

## 川津さん、平さんにきまる

先ほどから村内に公募して村職員（運転手）採用希望者を募ったところ、十名の応募があり、村では課長クラス以上で試験委員会をつくって、去る十月二十七日採用試験を行ないました。

試験は学科の筆記試験と面接試験をしたものです。

試験には十名のうち八名の方が受験され、試験委員会で採点を行ない、厳正審査の結果次の二名を採用決定しましたので、紹介いたします。

**採用決定者**

原部　川津三千尋さん

平　平倉　守さん

**注意**

**インフルエンザ**の流行が予想されます。**必ず予防注射**をうけましょう。

# 狩猟シーズン

## 猪にされないように

十一月一日から翌二月十五日まで全国一斉に狩猟が解禁されました。

ヘタなテッポウもカズうちゃ……と、中津江村には八十名程度のハンターが免許をもっていますから、日頃人間の作物を略奪している猪たちは大いそがしの時期です。九月、十月に二回のイノシシ退治をして十六頭射とめたが、今年も相当数居住んでいる様子、折角実った農作物があちこちで一夜のうちにあらされています。

人間に実害を加えるイノシシは退治しなければなりませんが、そのために使用されるテッポウの取り扱いについてはハンターさんに十分気をつけてもらわねばなりません。

暴発して他人にケガをさせたり、ましてや誤って引ガネをひくようなことのないよう注意が必要です。

ハンターの人には、狩猟の規則を十分守ってもらわねばなりませんが、私達も間違えられないよう注意することが是非必要です。

お互に気を付けて、今猟期も無事故で終りましょう。

# 牛に黄色の信号

## 流行性感冒が各地に発生

牛の流行性感冒が、長崎県に発生し福岡県甘木市に長崎県より導入した乳牛にも発生しておりますのでご注意下さい。

一般的症状は、食欲が減退するか又は全くなくなり鼻水を出し涙を流し、元気がなくなり、全身がつめたく感じられ、肢がふらつきよだれを流し、咳をし腰がたたなくなったりするものがあります。

熱は四十一度から四十二度位になります。早く見つけて治療すれば一日か二日位で熱はさがりますが、充分注意して早期発見に努め悪い牛を発見したら早目に獣医にみてもらいましょう。

## エノハとワカサギの増殖
## 津江漁業協同組合に期待

やがて津江漁業協同組合が発足する模様だが私は津江郷のエノハと渓谷に深く関心を持ちつづけた釣り人の一人として、この発足を心から喜ぶとともに組合の方におねがいしたい。

私が津江のエノハと結ばれたのは一五、六年も昔のことである。当時別府で歯科医を開業された川良克美さんに〃郷里の津江にはエノハが沢山いる〃ときかされ、強引に里帰りをつくりたて春たけなわの四月、二人して宝泉寺経由、北里、小国を経て中津江の栃原に辿りついた。ご両親への挨拶もそこそこに竿を持ちだしたのが鯛生川支流の梅野川で、くる魚もくる魚もみなエノハばかり、日本にもまだこんなところがあったのかと目を見はるばかりであった。

翌日は上津江の川原川に入った。ここは梅野川よりも谷が深く大きいだけに魚も大きくどの瀬でも釣れた。

地形を知りたくて釣はそこそこに笹野まで行ったがどこまで行っても魚はつきない。九州一のエノハ所と誇っていた上稚葉あたりにも勝るエノハの宝庫でした。

以来春ともなれば津江詣りを無上の楽しみとしていたがもはやその頃から魚は衰亡のきざしを見せていた。

第一に地元の人たちがこの魚への認識がうすく〃もう今年は消毒済みだから〃と平気でもらしていた。

次に釣りブームの波がしだいに高まり禁漁期などもお構いなしに久留米方面からマニヤたちが鵜の群れのごとくおしよせ荒しつづけたが、これに対しても地元はほとんど無関心であった。

こうした結果はどの谷も魚は激減、黒谷川などではたまたま釣行したわれわれに、土地の古老が〃どうぞ種だけはのこして欲しい〃と哀願するありさまでした。

ダム問題がではじめて次第に足は遠のき、ただ思い出を懐しみ十年が過ぎたが今またこの地のエノハが漁協という名の保護者にささえられやがては脚光を浴びるであろうことは、なんとも喜ばしい限りである。

この魚の保護増殖は地元の認識と実行が第一、漁協の対象魚種は多いようだが春、夏はエノハ、冬はワカサギ、この二つさえ沢山いれば千客万来は火を見るよりも明らかである。

こうした認識の上に立ってエノハ郷、津江の名を全国にとどろかしていただきたいものである。**（原稿は釣りマニア・夢竿氏）**

## ロードレースで新記録
### 長谷部久男君が優勝する

十月二十五日杖立ー上岩戸折返し三キロメートル中体連ロードレースが、郡中学校代表選手三十八名の参加で行なわれました。

この大会は十一月下旬三重町で実施される県駅伝の予選もかねていたので、最初から激しいトップ争いが続き折返し点一、五キロメートルから中津江中学校三年長谷部久男君（梅野）が先頭になりそのまま独走、大会新記録の九分四九秒という堂々たる記録で優勝、上位入賞者の記録も好成績でしたので県駅伝が楽しみです。

## NHK青年の主張
## 原稿を募集しています。

毎年一月十五日（成人の日）に東京のNHKホールから放送されております「NHK青年の主張全国コンクール」の原稿を募集しています。

これは今年第十八回目となっていますが、めまぐるしく変って行く社会情勢の中で、時代をになう青年の皆さんが考えていること、訴えたいことについて発表するものです。

応募希望の方は左記により応募ください。くわしいことは教育委員会にお問い合わせください。

**応募要領**

**参加資格**
昭和二十一年一月十六日から昭和三十一年四月一日までに生まれた方。

**応募締切**
昭和四十六年十一月八日までに大分市東春日町NHK放送局、青年の主張係へお送りください。

**応募課題**
A、青年として訴えたいこと。
B、わたしの選んだ道
C、わたしの青春
D、わたしの海外体験
E、わたしの休日

出場希望の方はこのうち一題を選んで五分以内で発表を終えるように意見をまとめた原稿（四〇〇字詰め原稿用紙三枚程度）を送ってください。

## 消費者コーナー

皆さんが毎日のお買物に必要な初歩的知識を身につけ、少しでも上手なお買物ができ、賢い消費者になっていただくための上手な買物10カ条を掲げて見ました。

1．計画をたてて買いましょう。
2．商品の品質や性能をよく調べましょう。
3．長期間にわたる契約には内容を確めましょう
4．デラックス型より実用型がお買得です。
5．食料品は時期を選びましょう。
6．量目と価格をよく確めましょう。
7．包装にまどわされず中味を買いましょう。
8．JISやJASマークなどの表示をよくみましょう。
9．ラベルやレシートは大切にとっておきましょう。
10．買ったものに苦情があったら早く申し出ましょう。

**買物についての苦情があったら住民課えお知らせ下さい。**